

DRUG



INFORMATION

2013 No. 2

平成24年7月18日発行

「ファンギゾンシロップ」の供給不足に伴う対応について

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

「ファンギゾンシロップ」の供給不足に伴う対応について



抗真菌性抗生物質製剤「ファンギゾンシロップ 100mg/mL」(成分名：アムホテリシン B)につきまして、今年 5 月に本剤の製造所変更連絡があり、その承認手続きが完了する 7 月中旬頃までは製品の出荷を調整するとの連絡がありました。しかし、その手続きが当初の見込みより長引き、7 月の現時点においても新しい製造所からの製品輸入の目途が立たない状況であるため、一時的に製品が供給不足になる可能性があるとのことです。また、同成分の後発品についてもファンギゾンシロップの供給状況の影響を受けて同様に供給不足となっております。そこで、当院では院内外の在庫状況を考慮して、院内および院外ともに本剤のオーダーを一時中止させて頂くことと致します。

ファンギゾンシロップのオーダーは **7 月 23 日(火)** で中止することとします。代替薬剤ですが、「フロリードゲル経口用 2%」(成分名：ミコナゾール)については当院用の在庫を確保しましたので、本製品を一時的に処方頂くようお願い致します。

「フロリードゲル経口用 2%」の用法・用量

- 口腔カンジダ症**：通常、成人にはミコナゾールとして 1 日 200～400mg (ミコナゾールゲル 10～20g) を 4 回(毎食後及び就寝前)に分け、口腔内にまんべんなく塗布する。なお、病巣が広範囲に存在する場合には、口腔内にできるだけ長く含んだ後、嚥下する。
- 食道カンジダ症**：通常、成人にはミコナゾールとして 1 日 200～400mg (ミコナゾールゲル 10～20g) を 4 回(毎食後及び就寝前)に分け、口腔内に含んだ後、少量ずつ嚥下する。



また、ファンギゾンシロップの代替薬剤としては他に「イトリゾール内用液 1%」もありますので、フロリードゲル経口用が使用できない場合はご検討下さい。

なお、ファンギゾンシロップにつきましては安定供給が確保できるようになりましたら、再度ご連絡致します。不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。